

第4章 地区別計画

地区別計画は、地区住民の意向等をもとに、市民が主体的に取り組むまちづくり、市民と行政が協働で取り組むまちづくりの方向性についてとりまとめたものであるため、全市的な各都市施設の整備方針を示した「第3章 都市づくりの方針」よりも広範囲な施策を対象とした計画になっています。なお、この地区別計画には、予算規模が小さく区長要望などで対処できるような内容については割愛してあります。

1 地区の設定

第2次豊明市都市マスタープランの地区別計画を作成するにあたり、地区の設定を次のような考え方で行いました。

- ①地区別計画は、地区の特性や地区のまちづくりを共有できる範囲に設定することが望ましく、共通の土地利用の課題を有する地区を基本とします。
- ②持続的なまちづくりを進めるために、地区のまとまりや活動の母体が形成しやすい自治組織やコミュニティを単位として小学校区を基本とします。

以上の観点から検討を重ねた結果、次の5つの地区を設定しました。

豊明小学校区 中央小学校区 沓掛小学校区 双峰小・大宮小・唐竹小・三崎小学校区 館小・栄小学校区
--



2 地区別計画

豊明小学校区 地区別計画

(1) 地区の概況

①位置

◇豊明小学校区は市の南部に位置し、南西は大府市に、南東は刈谷市に接しています。



②人口・世帯、人口密度

◇人口は平成24年1月1日現在、6,062人で市全体(68,625人)の8.8%を占めています。

◇世帯数は2,488世帯で、市全体(27,864世帯)の8.9%を占めています。

◇人口密度は19.9人/ha(市全体29.6人/ha)となっています。

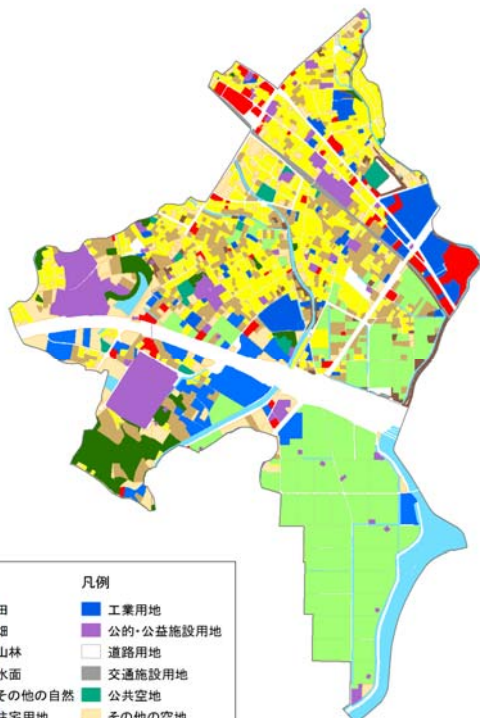
人口	6,062 人
世帯数	2,488 世帯
地区面積	305 ha
人口密度	19.9 人/ha

注) 人口、世帯数には一部、双峰小・大宮小・唐竹小・三崎小学校区内を含む。

③土地利用現況

◇土地利用は、田が20.4%、畑が8.6%と農地が3割近くを占め、また、住宅用地も17.1%を占めています。

◇これらの農地と住宅は主に伊勢湾岸自動車道と主要地方道瀬戸大府東海線を境に区分された土地利用になっています。



凡例	
田	工業用地
畑	公的・公益施設用地
山林	道路用地
水面	交通施設用地
その他の自然	公共空地
住宅用地	その他の空地
商業用地	

土地利用		面積 (ha)	%
農地	田	62	20.4%
	畑	26	8.6%
山林		11	3.5%
水面		17	5.5%
その他の自然		4	1.4%
住宅用地		52	17.1%
商業用地		8	2.7%
工業用地		25	8.1%
公的・公益施設用地		19	6.4%
道路用地		56	18.4%
交通施設用地		2	0.8%
公共空地		3	0.9%
その他の空地		19	6.2%
総面積		305	100.0%

注) 平成19年豊明市都市計画調査及び数値地図より図上求積

(2) 地区の特性と課題

① 道路交通対策

- ◇国道 23 号までのアクセス道路が未整備のために、市街地内の狭い道路に通過交通が進入し、事故の危険性が高くなっています。
- ◇車のスピードは出ないために、交通事故は少ないが、歩道が未整備であるために歩行者にとっては危険です。特に高齢者が利用しにくい歩道橋や横断歩道が無い交差点など、危険な箇所が多くなっています。

② 自然・歴史資源の保全と活用

- ◇公園が少ないことから、大原公園を整備しました。
- ◇残されている池には、蛍や鴨が生息し自然を感じることができます。しかし、椎池などのため池や河川の水質の悪化が進んでいます。また、池周辺の道路が未整備で近づけないなど、水辺への親水性の確保等が求められています。
- ◇旧東海道の阿野一里塚、松（豊明小）等は貴重な資源となっています。

③ I C 周辺地区の活用

- ◇道路交通の利便性が高く、国内有数の取扱量を誇る花き市場があります。
- ◇造成した工業団地も完売済です。
- ◇豊明 I C は名古屋方面への入口及び名古屋方面からの出口の便が悪くなっています。

④ 防災対策

- ◇断層があり震災の危険性があります。特に古い住宅が多く、耐震性が懸念されます。
- ◇狭い道路が多く、豊明小学校への避難が困難です。
- ◇農地の減少により、保水力、治水力が低下しており、農地の保全が必要です。

⑤ 生活利便機能

- ◇独居老人世帯が増加する一方、商店が減少し買物が不便となっています。
- ◇特に前後駅周辺の商業は空き店舗の増加やアピタの撤退で衰退してきており、本市の玄関口として魅力化を図り、賑わいを創出しつつ、生活利便性を確保するための活性化策が求められます。

(3) 地区のまちづくり構想

記号 ◎：協働 ●：市民主体 ■：行政主体

① 水辺環境の保全・整備

椎池の水質浄化

- 椎池の水質浄化を図るため、汚染源の調査を行い、池周辺に立地している工場や住宅からの排水対策を進めるとともに、水路からの導水や浚渫などの実施を検討します。また、自然の動植物が生息するビオトープとしての整備を検討します。

河川の清掃活動や緑化の推進

- 境川や正戸川、皆瀬川などの河川の清掃活動を住民等により定期的実施するとともに、関係機関と調整し、花の咲く樹木や植物による緑化推進を検討します。

② 農地の保全・活用

水田の保全

- 南部の舟田地域や小松林地域に広がる水田は、治水対策の観点からも優良農地として保全します。

景観作物づくりの推進

- 愛知豊明花き地方卸売市場（以下、花き市場）周辺の遊休農地は、「花き市場がある花文

化のまち豊明」のイメージアップを図るため、地権者等の理解を得ながら、土地にあった景観作物づくりを推進し、四季を通じて市民や来訪者の目を楽しませる美しい景観を形成します。

③観光推進のための環境整備

歴史を巡る観光ルートづくり

◎阿野一里塚や大脇神明社（梯子獅子）、曹源寺、大脇城址などの歴史資源と、市内他地区にある桶狭間古戦場伝説地や戦人塚などの史跡を巡る観光ルートを設定するとともに、地域住民による沿道の花飾りを進めるなど、楽しく快適に散策できるような環境づくりを進めます。

■曹源寺、笹徳印刷(株)周辺の道路を整備し、観光バスが通行できるようにします。

観光のための施設の充実と観光PRの推進

■観光交流の基盤となる駐車場やトイレ等の整備拡充に努めるとともに、ひまわりバスで豊明の観光スポット情報のアナウンスを行うなど観光PRを図り、観光客の誘客により豊明駅の利用を促進します。

④円滑で快適な幹線道路の整備

国道1号の整備促進

■4車線道路として都市計画決定している国道1号の整備促進を関係機関へ要請するとともに、当面の渋滞緩和策として、交差点部分の改善を検討します。

(都)桜ヶ丘沓掛線の整備

■国道23号から本市の玄関口の一つとなる(都)桜ヶ丘沓掛線については、(都)大脇館線との交差点以南の早期実現に向けて整備推進に努めます。

■信号システムの改善を図るなど、国道1号の交差点付近の渋滞の解消に努めます。

地区内の幹線道路の整備

■交通の円滑化を図るため、地区内道路を拡幅し、幹線的な道路を確保します。

■(都)瀬戸大府線から花き市場へのアクセスを強化するために、道路と橋梁の整備を推進します。

伊勢湾岸自動車道のランプの設置

■名古屋方面への入口、名古屋方面からの出口の整備を関係機関に要請します。

⑤生活道路の安全性や快適性の確保

駅周辺道路の歩行者・自転車通行帯の確保

■朝夕に自動車やバイク、自転車や歩行者で混雑する旧東海道の前駅付近等については、歩道のバリアフリー化や歩行者通行帯の確保、自動車の右折レーンの設置、一方通行規制を進めるなど、周辺住民等との調整を図りながら歩行者と自動車が共に安全かつスムーズに通行できるようにします。

交通安全施設の設置等

■信号のない交差点における出会い頭の事故を防止するため、信号機や夜間発光設備など交通安全施設の設置を進めます。

■歩道の設置やスクールゾーンの設置などにより、児童の通学の安全性を確保するとともに、自転車はもとより、車いすやベビーカー、シニアカーなどでも歩道橋が利用できるよう、歩道橋におけるスロープの整備を図ります。

■名鉄線と交差する道路の円滑で安全な交通環境を確保するため、関係機関と連携して踏み切りやトンネルの改良を進めます。

⑥便利で快適な移動手段の確保

■前後駅や豊明駅など交通結節点を起終点としたひまわりバスのコースや本数の充実を図るなど、高齢者や障がい者など移動手段に制約のある住民でも市内各地に行くことがで

きる便利で快適な移動手段を確保します。

⑦防災・防犯対策等の推進

自主防災・防犯活動の充実

- 防災マップの作成や防災倉庫の点検、防災訓練の実施など、自主防災活動を充実します。
- ◎避難所に指定されている小学校や保育園から離れて居住している住民も少なくないことから、地区のコミュニティセンターを防災拠点として位置付け、水や食糧等の備蓄を進めます。

高齢者等の避難支援と避難施設のバリアフリー化

- ◎高齢者世帯等の情報を地域で把握し、誰もが確実に避難できる助け合いの体制を整えるとともに、避難所で高齢者等が困らないようにするため、避難所のバリアフリー化を進めます。

緊急時の連絡システムと防犯パトロール等の実施

- ◎高齢者や子どもなどを犯罪被害等から守るため、行政・警察と市民との間で犯罪の危険情報の共有化を図ります。
- ◎地域住民による防犯パトロールを充実するとともに、警察等の協力を得ながら地域安全点検活動を実施し、犯罪等の発生の危険性のある箇所の洗い出しと未然防止策の検討を進めます。

⑧花き地方卸売市場周辺整備

- 花き市場関連施設では、一般市民が利用できる小売機能の集積を図ります。また、市場の知名度のアップを図り、市民が親しめる施設づくりを工夫します。

⑨工業用地の整備

- 市の活性化と税収のアップを図るため、新たな工業用地の開発を支援し、環境にやさしい企業の誘致を支援します。

⑩市街化区域の編入検討

- 大脇地区及び豊明 I C 北地区は、住民等の意向を把握しながら市街化区域に編入し、適正な土地利用の推進と都市基盤整備を検討します。

⑪安全・快適な都市環境の整備

- 耐震診断や改修工事等の費用の支援制度を普及させ、耐震性に問題のある住宅等の耐震補強を促進します。また、避難所となる小学校や保育園、コミュニティセンター等の耐震補強を推進します。
- 既存の集落・市街地が多くを占めている市街化調整区域については、地区住民の意向を把握しながら D I D 地区において市街化区域への編入を検討します。

地区別計画

豊明小学校区 地区別構想図

水辺環境の保全・整備

椎池の水質浄化

■椎池の水質浄化に向けた汚染源の調査や工場等からの排水対策、水路からの導水や浚渫などの実施を検討。また、自然の動植物が生息するビオトープの整備

河川の清掃活動や緑化の推進

●住民等による河川の清掃活動の定期的な実施と緑化の推進

農地の保全・活用

水田の保全

■地区南部に広がる水田を治水対策の観点からも優良農地として保全

景観作物づくりの推進

●花き市場周辺の遊休農地を活用し、四季を通じて市民や来訪者の目を楽ませる土地に合った景観作物づくりを推進

観光推進のための環境整備

歴史を巡る観光ルートづくり

◎地区内外にある史跡を巡る観光ルートの設定と地区住民による沿道の花飾りの推進

観光のための施設の充実と観光PRの推進

■観光交流の基盤となる駐車場やトイレ等の整備拡充とひまわりバスでの観光スポット情報のPR
■観光バスが通行できる道路の整備

円滑で快適な幹線道路の整備

国道1号の整備促進

■国道1号の4車線道路としての整備促進と渋滞解消

(都)桜ヶ丘沓掛線の整備

■(都)大脇館線との交差点以南の早期実現と信号システムの改善等による国道1号の交差点付近の渋滞解消

地区内の幹線道路の整備

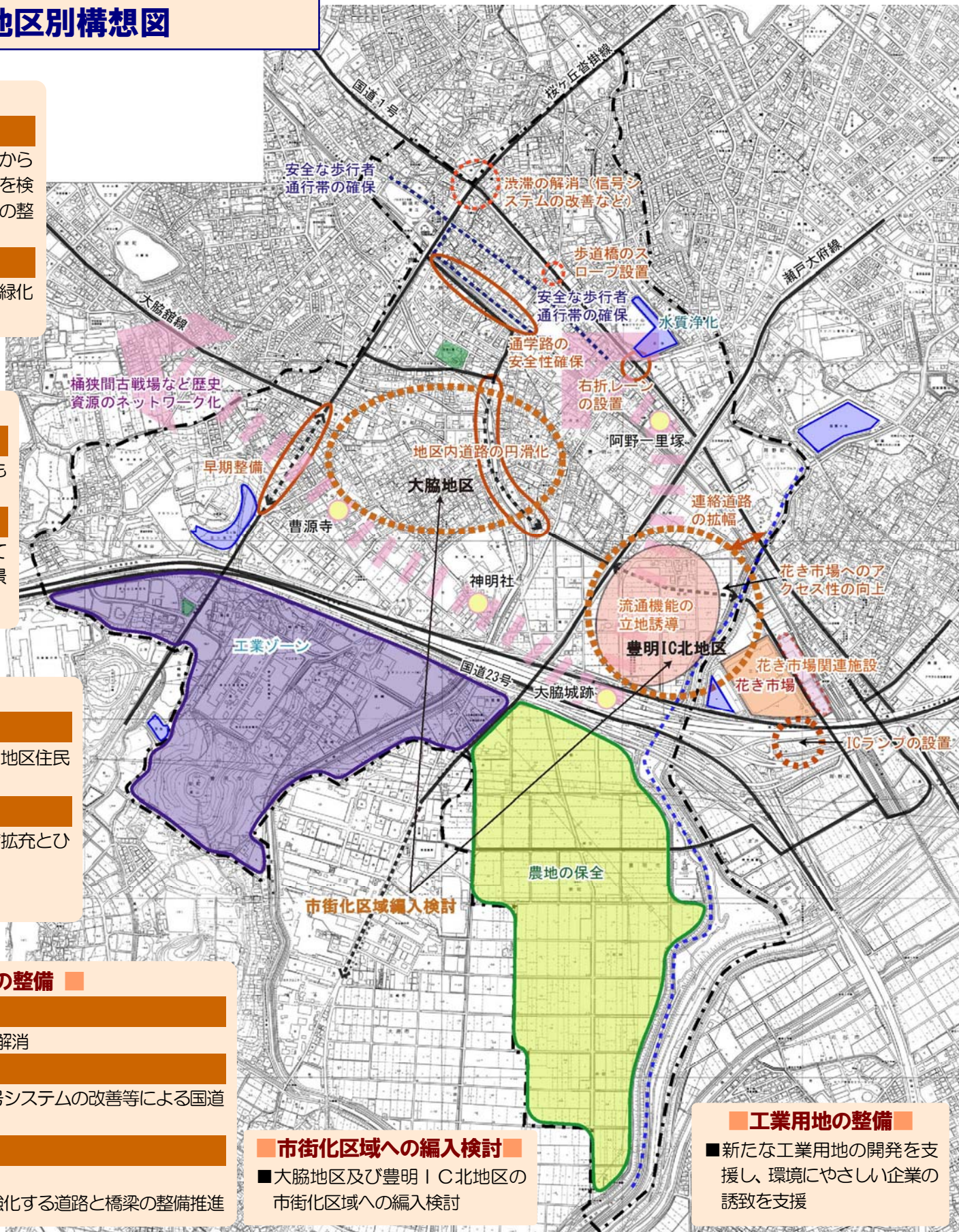
■地区内の道路の拡幅
■(都)瀬戸大府線から花き市場へのアクセスを強化する道路と橋梁の整備推進

市街化区域への編入検討

■大脇地区及び豊明IC北地区の市街化区域への編入検討

工業用地の整備

■新たな工業用地の開発を支援し、環境にやさしい企業の誘致を支援



生活道路の安全性や快適性の確保

駅周辺道路での安全な歩行者通行帯の確保

■旧東海道の前後駅付近等を周辺住民等との調整を図り、安全な歩行者通行帯を確保

交通安全施設の設置等

■交差点での交通事故防止のため、信号機や夜間発光設備などの交通安全施設の整備
■歩道の設置やスクールゾーンの設定などにより児童の通学の安全性の確保
■誰もが歩道橋を利用できるようにスロープの整備
■名鉄線と交差する道路の円滑で安全な交通環境を確保する踏み切りやトンネルの改良

便利で快適な移動手段の確保

■前後駅や豊明駅など交通結節点を起終点としたひまわりバスのコースや本数の充実

防災・防犯対策等の推進

自主防災・防犯活動の充実

●防災マップの作成、防災倉庫の点検、防災訓練の実施
◎地区のコミュニティセンターを防災拠点として位置付け、水や食糧等の備蓄の推進

高齢者等の避難支援と避難施設のバリアフリー化

◎高齢者世帯等の情報を地域で把握し、誰もが確実に避難できる助け合いの体制の強化
◎避難所のバリアフリー化の推進

緊急時の連絡システムと防犯パトロール等の実施

◎行政・警察と市民との間で犯罪危険情報を共有できるシステムの整備
◎地域住民による防犯パトロールの充実、警察等と連携した地域安全点検活動、犯罪等の発生危険箇所の洗い出しと未然防止策の検討

花き地方卸売市場周辺整備

■一般市民が利用できる小売機能の集積。また、市場の知名度のアップと市民が親しめる施設づくりを推進。

安全・快適な都市環境の整備

■耐震診断や改修工事等の支援制度の普及による住宅等の耐震補強
■避難所となる小学校や保育園、コミュニティセンター等の耐震補強の推進
■地区住民の意向を把握しながら市街化区域への編入を検討

中央小学校区 地区別計画

(1) 地区の概況

①位置

◇中央小学校区は市の西部に位置し、東は刈谷市に接しています。



②人口・世帯・人口密度

◇人口は平成24年1月1日現在、14,014人で市全体(68,625人)の20.4%を占めています。

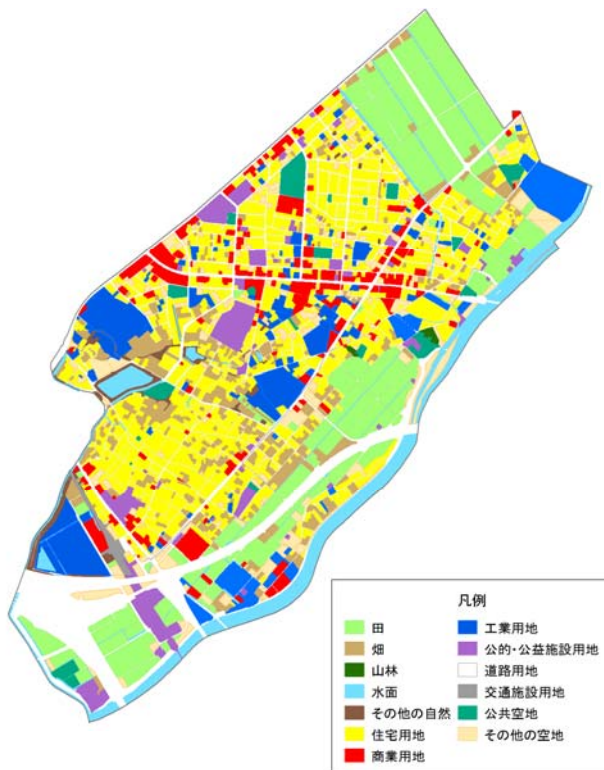
◇世帯数は5,593世帯で、市全体(27,864世帯)の20.1%を占めています。

◇人口密度は40.9人/ha(市全体29.6人/ha)となっています。

人口	14,014 人
世帯数	5,593 世帯
地区面積	343 ha
人口密度	40.9 人/ha

③土地利用現況

◇土地利用は、住宅用地が25.6%、農地が22.9%を占め、住宅と農地が共存する農村集落的な土地利用になっています。



土地利用		面積 (ha)	%
農地	田	57	16.5%
	畑	22	6.4%
山林		0	0.1%
水面		20	5.8%
その他の自然		4	1.2%
住宅用地		88	25.6%
商業用地		16	4.8%
工業用地		30	8.8%
公的・公益施設用地		12	3.6%
道路用地		68	20.0%
交通施設用地		2	0.4%
公共空地		6	1.8%
その他の空地		17	5.1%
総面積		343	100.0%

注) 平成19年豊明市都市計画調査及び数値地図より図上求積

(2) 地区の特性と課題

①豊明駅周辺の活性化

- ◇豊明駅が無人化になり、夜間が暗いことから治安の悪い地区になってきています。
- ◇商店の廃業もあり、商業地としての賑わいもなくなっています。
- ◇豊明駅周辺には花き市場が立地するなど、新たなまちづくりの展開も期待できます。

②安全・安心なまちづくり 防災・防犯・交通安全

- ◇地区内は空き巣や放火、盗難、痴漢などが多発しています。特に街灯の整備が不十分で夜間は暗く危険です。
- ◇境川や正戸川周辺では水害の危険性も高くなっています。
- ◇通学路の交通安全対策も重要となっています。

③住民による環境改善活動の展開

- ◇公園には犬のフンが、道路沿いや水路沿いにはポイ捨てや路上駐車が目立つなど、市民のモラルやマナーが低下し、地域の環境が悪化しています。
- ◇これまで地域コミュニティ活動は活発に行われてきましたが、共働き世帯の増加や新住民の増加などにより地域のコミュニティが希薄になりつつあります。そのため、祭り等を通じて世代間交流等を図り、地域の自治力、助け合いの力を高めつつ、地域が一体となって地域の環境を改善していくことが求められます。

④自然環境や歴史環境の保全・活用

- ◇境川、井堰川、正戸川などの水辺環境や農地等があり、緑豊かな環境が形成され、野鳥等も生息しています。
- ◇公園や広場などが整備され、また道路には街路樹や花壇が整備されているなど、市民にうるおいと安らぎを提供しているものの、公園等は憩いの場所として利用されず、魅力が低下しています。
- ◇阿野一里塚や神社、祭りなどの歴史環境が豊富に残っています。そのため、自然環境や歴史環境の保全・活用を図り、地区の魅力向上を図っていくことが求められます。

(3) 地区のまちづくり構想

記号 ◎：協働 ●：市民主体 ■：行政主体

①花き地方卸売市場周辺整備

流通機能の強化

- 花き市場の関連施設として一般市民が利用できる小売機能の集積を図ります。また、市場の知名度アップを図り、市民に親しめる施設づくりを工夫します。

②水害から地域を守る洪水対策

正戸川の治水対策

- ◎洪水を防ぐために、流域での住宅地及び駐車場の貯留浸透対策の強化、公共施設等における雨水貯留施設の増設、ため池や田園を利用した洪水調整など、総合的な治水対策を図ります。
- 住民も、河川堤防の草刈や側溝の掃除に参加するとともに、土のう積み訓練を実施する

など、日頃から災害に備える心構えを持つように努めます。

自主防災力の強化

- 日頃から地域の防災対策についての話し合いを行い、防災リーダーを中心とする地域内の協力体制を確立し、地域の自主防災力の強化を図ります。
- 多くの地域住民が災害時に的確な行動ができるようにするために、近所レベルの防災訓練を実施して防災に関心の無い人の参加を呼びかけるとともに、消火器・消火栓・ジャッキなどの防災器具の使用訓練を行います。
- 地域防災施設の設置を進め、防災器具や食料等の備蓄の充実を図ります。

③犯罪から地域を守る防犯対策

豊明駅周辺の防犯対策

- 豊明駅の無人駅化に伴う防犯対策を強化するために、交番の設置や名鉄の検査場の保安員等によるパトロールの強化を働きかけます。
- 駐輪場から駅前、駅前から伸びる（都）豊明停車場線にかけて夜間暗くなることから、安心して駅を利用できるようにするために、照明の増設を進めます。

防犯パトロールの推進

- 区、老人会、PTAなどの地域組織と学校が協力して、夜間、小学生の登下校時の防犯パトロールを推進するとともに、住民一人ひとりが犬の散歩やウォーキング、買物で外出する時にパトロールに心がけます。
- 防犯グッズの作成・配布等により、地域住民の防犯パトロールをサポートします。

情報の共有システム

- ◎警察による最新犯罪情報の提供、地域防犯協力員制度の拡充を図るとともに、地域住民の中で犯罪情報を共有する仕組みを整備します。

防災会の連携強化

- 防災会同士の連携を深め、情報を共有化し活動の活性化を図ります。

④交通・交通安全

通学路の安全性の確保

- 小学校の通学路の安全性を確保するために、車の速度の減速を図る道路構造の工夫、車の通行時間規制、信号機の設置などの安全対策を進めます。

ひまわりバスの利便性の向上

- ひまわりバス路線の短縮化、前後駅を結ぶ路線の充実など、ひまわりバスの利便性を高めるための改善を進めます。

花き市場周辺と結ぶ連絡道路の整備

- 花き市場の周辺整備によって整備される商業施設を、地域住民を利用しやすくするために、名鉄線を越えて花き市場周辺地区と結ぶ連絡道路の拡幅整備を進めます。

⑤河川・水路の親水整備

ホタル・トンボの里づくり

- 地域住民による水路の清掃活動や雑草の草刈を進め、ホタルやトンボが生息できる環境づくりを進めます。

境川河川敷の利用

- ◎県が管理している堤防の管理に住民も一部協力し、市民が利用しやすいように河川敷の環境保全を図ります。
- 利用者を中心とした自主管理グループを組織化し、利用者のマナーの向上を図る必要があります。

⑥魅力的なまちなみ形成

魅力的な散策路づくり

- 史跡・名所、境川等の地域内の資源を洗い出し、これらを結ぶ散策路を整備します。
- ◎ 多くの住民が利用する散策路とするために、行政と地域住民との協力でウォーキングマップを作成し、ウォーキング大会の開催を進めます。
- 地域住民は散策路の清掃・管理を自主的に取り組み、市民が歩きたくなる散策路の維持管理に努めます。

各戸の花いっぱい運動の展開

- フラワーサークルや個人のフラワーボランティアの活動を活発にするとともに、各家庭での花いっぱい運動の取り組みを推進し、魅力的なまちなみの形成に努めます。

⑦農地の有効活用

市民農園の整備

- 遊休農地の有効活用により市民農園を整備し、地域住民の生活に生きがいとうるおいをもたらすことができる環境づくりを進めます。
- 地域で農地の管理や農業指導を行う組織を立ち上げ、市民農園が拡大しやすい環境を整えます。

景観作物の栽培

- 農地を利用して、コスモス、ひまわり、菜の花などの花畑づくりを促進し、うるおいと魅力のある地域の景観形成を進めます。

⑧市街化区域の編入検討

- 豊明 I C 北地区は、住民等の意向を把握しながら市街化区域に編入し、適正な土地利用の推進と都市基盤整備を検討します。

地区別計画

中央小学校区 地区別構想図

犯罪から地域を守る防犯対策

豊明駅周辺の防犯対策

- 豊明駅周辺への交番の設置や検査場の名鉄の保安員等によるパトロールの強化の働きかけ
- 駐輪場から駅前にかけての照明の増設

防犯パトロールの推進

- 区、老人会、PTAなどの地域組織と学校との協力による夜間、小学生の登下校時の防犯パトロールの推進
- 住民一人ひとりが外出のついでにパトロールを実施
- 行政による地域住民による防犯パトロールのサポート

情報の共有システム

- ◎警察による最新犯罪情報の提供、地域防犯協力員制度の拡充
- 地域住民の中で犯罪情報を共有する仕組みの整備

交通・交通安全

通学路の安全性の確保

- 車の速度の減速化、スクールゾーンの設定、信号機の設置などによる小学校の通学路の安全性確保

ひまわりバスの利便性の向上

- ひまわりバス路線の短縮化、前後駅を結ぶ路線の充実

花き市場周辺と結ぶ連絡道路の整備

- 名鉄線を越えて花き市場周辺地区と結ぶ連絡道路の拡幅整備

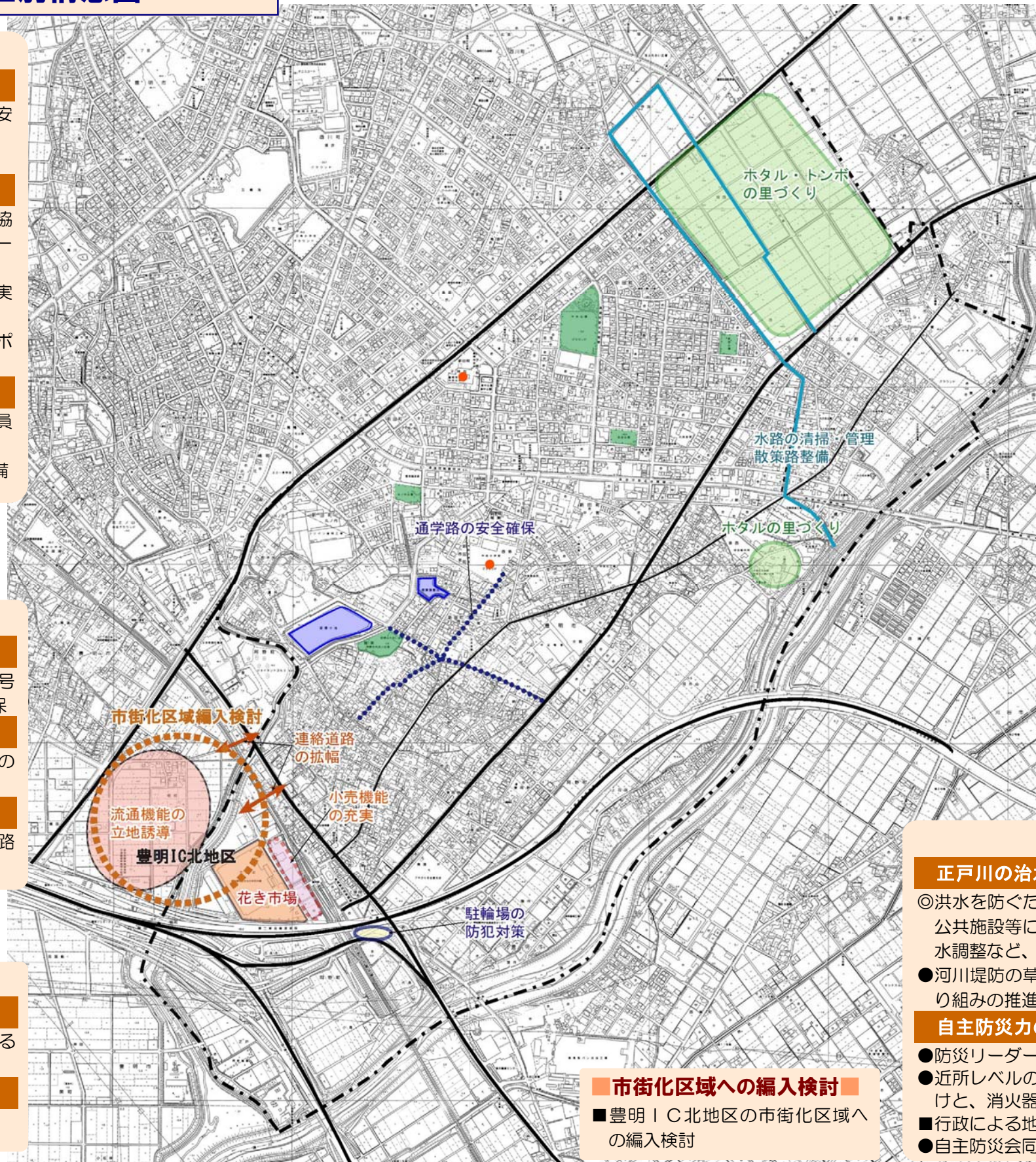
花き地方卸売市場周辺整備

商業施設の立地誘導

- 花き市場の関連施設として一般市民が利用できる小売機能を集積

駅の利用客の拡大

- 花き市場関連整備による集客力のアップ



河川・水路の親水整備

ホタル・トンボの里づくり

- 地域住民による水路の清掃活動や雑草の草刈などの取り組みによるホタルやトンボが生息できる環境づくり

境川河川敷の利用

- ◎堤防の草刈に住民が協力し、利用しやすい河川敷として環境保全
- 自主管理グループの組織化による利用マナーの向上

魅力的なまちなみ形成

魅力的な散策路づくり

- 史跡・名所、境川等の地域内の資源を結ぶ散策路を整備
- ◎行政と地域住民との協力でウォーキングマップの作成、ウォーキング大会の開催
- 地域住民による散策路の清掃・管理による散策路の自主的な維持管理

各戸の花いっぱい運動の展開

- フラワーサークルや個人のフラワーボランティアの活動の活発化
- 各家庭での花いっぱい運動の取り組みの推進

農地の有効活用

市民農園の整備

- 遊休農地の有効活用による市民農園の整備
- 農地の管理や農業指導を行う組織の立ち上げ

景観作物の栽培

- 農地を利用してコスモス、ひまわり、菜の花などの魅力ある景観を形成する花畑づくりの促進

水害から地域を守る洪水対策

正戸川の治水対策

- ◎洪水を防ぐため、流域での住宅地及び駐車場の貯留浸透対策の強化、公共施設等における雨水貯留施設の増設、ため池や田園を利用した洪水調整など、総合的な治水対策
- 河川堤防の草刈や側溝の掃除や土のう積み訓練など、住民の日頃の取り組みの推進

自主防災力の強化

- 防災リーダーを中心とする地域内の協力体制の強化
- 近所レベルの防災訓練を実施して防災に関心の無い人の参加の呼びかけと、消火器・消火栓・ジャッキなどの防災器具の使用訓練の実施
- 行政による地域防災施設の設置推進
- 自主防災会同士の連携強化

市街化区域への編入検討

- 豊明IC北地区の市街化区域への編入検討

沓掛小学校区 地区別計画

(1) 地区の概況

①位置

◇沓掛小学校区は市の北部に位置し、北は名古屋市、東郷町に、東は刈谷市に接しています。地域内には農地や山林、ため池等の残る緑豊かな田園地域となっています。



②人口・世帯、人口密度

◇人口は平成24年1月1日現在、7,960人で市全体(68,625人)の11.6%を占めています。

◇世帯数は2,771世帯で、市全体(27,864世帯)の9.9%を占めています。

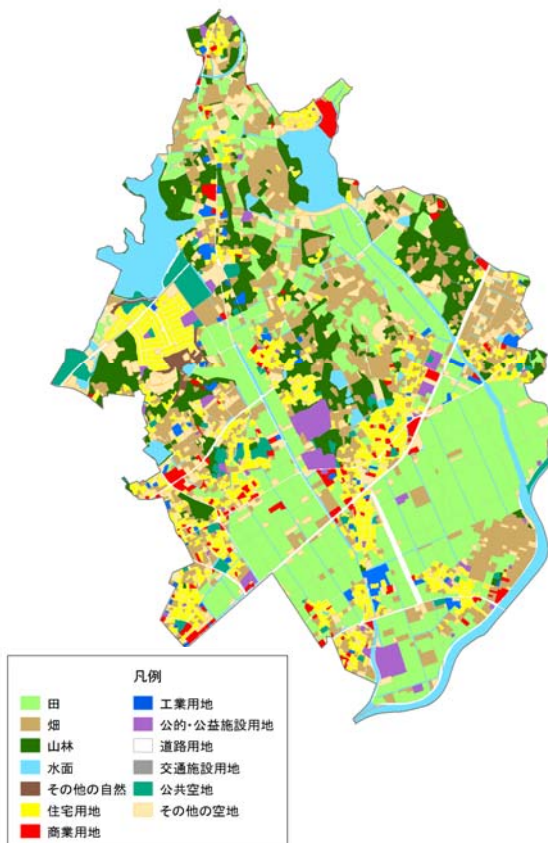
◇人口密度は9.1人/ha(市全体29.6人/ha)となっています。

人口	7,960 人
世帯数	2,771 世帯
地区面積	876 ha
人口密度	9.1 人/ha

注) 人口、世帯数には一部、双峰小・大宮小・唐竹小・三崎小学校区内を含む。

③土地利用現況

◇土地利用は、田が27.4%、畑が15.2%と農地が4割以上を占めます。また、住宅用地は10.4%を占め、農村集落の土地利用となっており、山林や水面などの自然的土地利用も比較的多くなっています。



土地利用		面積 (ha)	%
農地	田	240	27.4%
	畑	133	15.2%
山林		96	10.9%
水面		73	8.4%
その他の自然		4	0.5%
住宅用地		91	10.4%
商業用地		17	1.9%
工業用地		11	1.3%
公的・公益施設用地		19	2.1%
道路用地		103	11.8%
交通施設用地		0	0.0%
公共空地		19	2.2%
その他の空地		69	7.8%
総面積		876	100.0%

注) 平成19年豊明市都市計画調査及び数値地図より図上求積

(2) 地区の特性と課題

①自然に囲まれた環境の保全と活用

- ◇山林や勅使池、若王子池などのため池、農地、河川など、豊かな自然環境が残っています。特に農地は、保水力という機能を持ち、治水上における重要な役割を果たしています。
- ◇農地の遊休地化が進むとともに、ごみの不法投棄の場にもなっています。また、雑草が伸びた所では犯罪や放火の心配があり、また交差点付近では道路の見通しを悪くしています。
- ◇自然に囲まれた環境の魅力を生かすため、環境の保全活動を進めるとともに、市民のうるおいと憩いの場所として活用することが求められます。そのため、境川河川敷の整備や管理を図るとともに、堆肥センターと連携した遊休農地の有効活用などを図ることを検討します。

②ため池、歴史資源の活用

- ◇勅使池、若王子池などのため池、一之御前安産水、沓掛城址、十三塚、二村山など地域資源が残っています。このうち勅使池については、県営事業として親水護岸や散策路などの整備が行われ、それにあわせて勅使水辺公園を整備しています。
- ◇これらの資源を、魅力とうるおいのある環境や憩いの場、また子どもの遊び場をはじめ、自然観察や環境学習の場として保全・活用し、次世代に継承していくことが求められます。

③道路・交通等の生活基盤の整備

- ◇幹線道路が未整備であることから交通渋滞が日常的に起きており、それにともない、抜け道として生活道路や農道への通過車両が進入し、交通事故が発生しています。
- ◇都市計画道路として名古屋岡崎線、大根若王子線、桜ヶ丘沓掛線が計画されており、幹線道路の交通対策等を検討することが課題となっています。

④土地利用の規制誘導

- ◇地下鉄延伸の計画があり、大きな影響を及ぼすことが期待されますが、事業化の見通しは立っていません。
- ◇(都)名古屋岡崎線は地域に影響を及ぼす可能性があります。(都)瀬戸大府線も含めて幹線道路沿線の適正な土地利用の誘導・規制を図っていくことが求められます。
- ◇市街化調整区域内において、一部宅地化が進行しています。しかし、調整区域であることから一部の地区で下水道の整備がされていません。そのため、市街化調整区域内の適正な宅地化の方針を示すことが求められます。

⑤防災・防犯体制の強化

- ◇もともと農地が広がる農村集落でしたが、都市化によるスプロール開発等が行われました。そのため、道路基盤が脆弱で狭い道路が多いことや、また、地盤も低く水害への危険性も高いことなどから、災害時における対策を図っていくことが求められます。
- ◇都市化の進行に伴って農家の減少や共働き世帯の増加など地域のコミュニティが希薄になっていることや防犯灯が少なく暗いことから、防犯面での危険性も高まっています。

(3) 地区のまちづくり構想

記号 ◎：協働 ●：市民主体 ■：行政主体

① 自然環境の維持管理**農道や農地、山林等の草刈強化と不法投棄対策**

◎耕作放棄等により人の手が入らなくなった農地・畦畔、山林、河川では雑草が生い茂り、防災・防犯上の問題や、ごみの不法投棄、道路の見通しが悪くなるなどの問題が発生しており、住民等による清掃活動を定期的を実施するとともに、市民と行政とが連携し、不法投棄等の監視・取り締まり、土地管理の指導を強化します。

■魅力的な田園景観を保全・創造するため、遊休農地や資材置場等の修景の義務付けなど、景観対策を推進します。

市民参加による山林の活用 竹林整備モデル事業

●荒廃化した山林（竹やぶ）を美しく魅力的な竹林に再生していくため、重点整備区域を設定し、市民ボランティア組織を設立しながら、放置された竹やぶの間伐、山林の下草刈りなど林床管理を実施します。

■竹林整備にあたっては、市やJA等が地権者へのPRと調整を図るとともに、資機材の提供、指導者の育成を行います。

◎市民の森林レクリエーションの場として活用していくため、散策路づくりや間伐材を利用した竹炭づくり、しいたけ栽培、竹垣づくりなどを展開します。

② 水辺環境の整備**ため池の整備・管理**

◎長間地池等のため池を魅力ある水辺環境としていくため、アヤメやカキツバタの育成、蓮池としての再生などを実施します。

◎勅使池整備事業（県事業）に合わせて整備した勅使水辺公園については、周辺の自然環境と調和し、自然に親しめる場となるように、住民と調整しながら協働で維持管理を実施します。

③ 農地の有効活用（遊休農地対策）**花畑づくりプロジェクト**

●地権者等の理解、協力を得ながら、遊休農地を活用した花畑づくりプロジェクトを実施し、四季を通じて花であふれる魅力ある地域環境を形成します。

●プロジェクトでは、花畑を管理する市民ボランティアを設立しながら、ボランティアが中心となって各花畑の魅力を競うコンテストや、親子等が参加する写生大会等のイベントなどを定期的開催します。

市民農園の整備

■堆肥センター周辺を市民農園ゾーンに設定し、市やJAが地権者から農地を借り受け、市民農園を整備します。

●堆肥センターの事務所を活用して市民農園利用者のクラブハウスを設置し、利用者同士の交流、農家の方の農業指導などの場とします。

④ 地域資源のネットワーク**安心・快適な散策道整備と観光・散策ルートづくり～ホテルの里を目指して～**

■生活道路や農道、主要排水路沿いに安心・快適に散策できる散策道を整備します。

◎特に沓掛城址、一之御前安産水、ため池（長間地池等）、ナガバノイシモチソウ、竹林、花畑などの地域資源をつなぐ散策ルートを設定するとともに、地域住民が協力しながら案内板や案内所を設置したり、沿道に花を植えたり、ホテルの育成をしたりしながら魅力的な散策コースとなるよう整備・管理を進めます。

●地域の歴史や自然を守りながら、地域の子どもや来訪者に伝えていくボランティアガイドの育成、組織化、マップの作成を行います。

⑤安全で快適な道路環境の整備

(都) 名古屋岡崎線をはじめ幹線道路の整備促進

- 幹線道路については、国・県の関係機関へ早期実現に向けて要請するとともに、計画・事業の進捗に応じて住民への情報提供を実施します。

集落内への通過交通対策の実施

- ◎ (都) 大根若王子線をはじめ、集落内の生活道路や農道への通過交通を排除し、通学路等の安全を確保するため、通過交通抑制ゾーンを設定して車の速度を抑えるハンプやポール(ボラード)、立て看板の設置をします。あわせて通過交通や違法駐車等を監視・指導する監視員を地域住民のボランティアで配置します。

⑥市街化区域の編入検討

- 勅使台団地地区及び若王子ニュータウン地区は、住民の意向を把握しながら市街化区域に編入し、適正な土地利用の推進と公共の汚水処理施設整備などの都市基盤整備を検討します。

⑦適正な土地利用の誘導

- 切山地区については、土地改良事業の導入により基盤整備の推進を図ります。
- 豊山地区については、都市計画法第34条第12号の規定に基づき、地域振興のための工場や研究所が建てられるようになったことから、今後は東郷町と一体となった工業用地の整備・拡充等を支援し、生産・流通機能の誘導を図ります。
- (都) 名古屋岡崎線の整備にあわせ、高齢者施設周辺をユニバーサルデザインに配慮した道路環境の改善を進めます。

⑧防災・防犯コミュニティの確立

自主防災・防犯活動の展開

- 救出、消火を指導できるリーダーを育成するとともに、実践的な講習会を定期的で開催し、災害時に自主防災組織が実践的な活動ができるように支援します。
- 自主防災組織できめ細かな独自のマニュアルや防災マップを作成して防災訓練時に活用するなど、緊急時に適正な対応ができるようにします。
- 住民による自主的な見回りを日常的に実施し、危険箇所をチェックするとともにその情報を集約化して、安全な避難路の確保に努めます。

高齢者の避難支援

- 高齢者世帯の情報を地域で把握し、高齢者が確実に避難できるような助け合いの体制を整えます。

緊急時の連絡システム

- ◎ 行政・警察と市民との間で犯罪の危険情報を共有できるシステムを整備します。
- 地域住民も隣近所との間で自主的な緊急時の連絡体制を導入するように努めます。

⑨安全な都市環境の整備

- ため池の堤防強化、排水ゲート整備により水害対策を強化します。
- 支援制度の普及により、耐震性に問題のある建物の耐震補強を促進します。

⑩世代間交流拠点の整備

- 小学校周辺には世代間交流の拠点となる児童館や福祉・介護施設等の機能を、既存の施設や用地を活用して整備します。
- 管理運営に住民が参加するとともに、交流事業を企画・実施します。

地区別計画

沓掛小学校区 地区別構想図

自然環境の維持管理

農道や山林の維持管理

- ◎住民による農道や山林等の草刈り、清掃活動の実施
- ◎住民と行政による不法投棄の監視・取締の強化と景観対策

竹林整備モデル事業

- 市民参加による竹林の再生
- 市民の森林レクリエーションの場づくり、散策路づくり、ため池の魅力化
- ◎伐採した竹・木材の有効活用

水辺環境の整備

ため池の整備・管理

- ◎魅力的な水辺環境として水生植物等の植栽・再生
- ◎住民との協働による勅使水辺公園の維持管理の実施

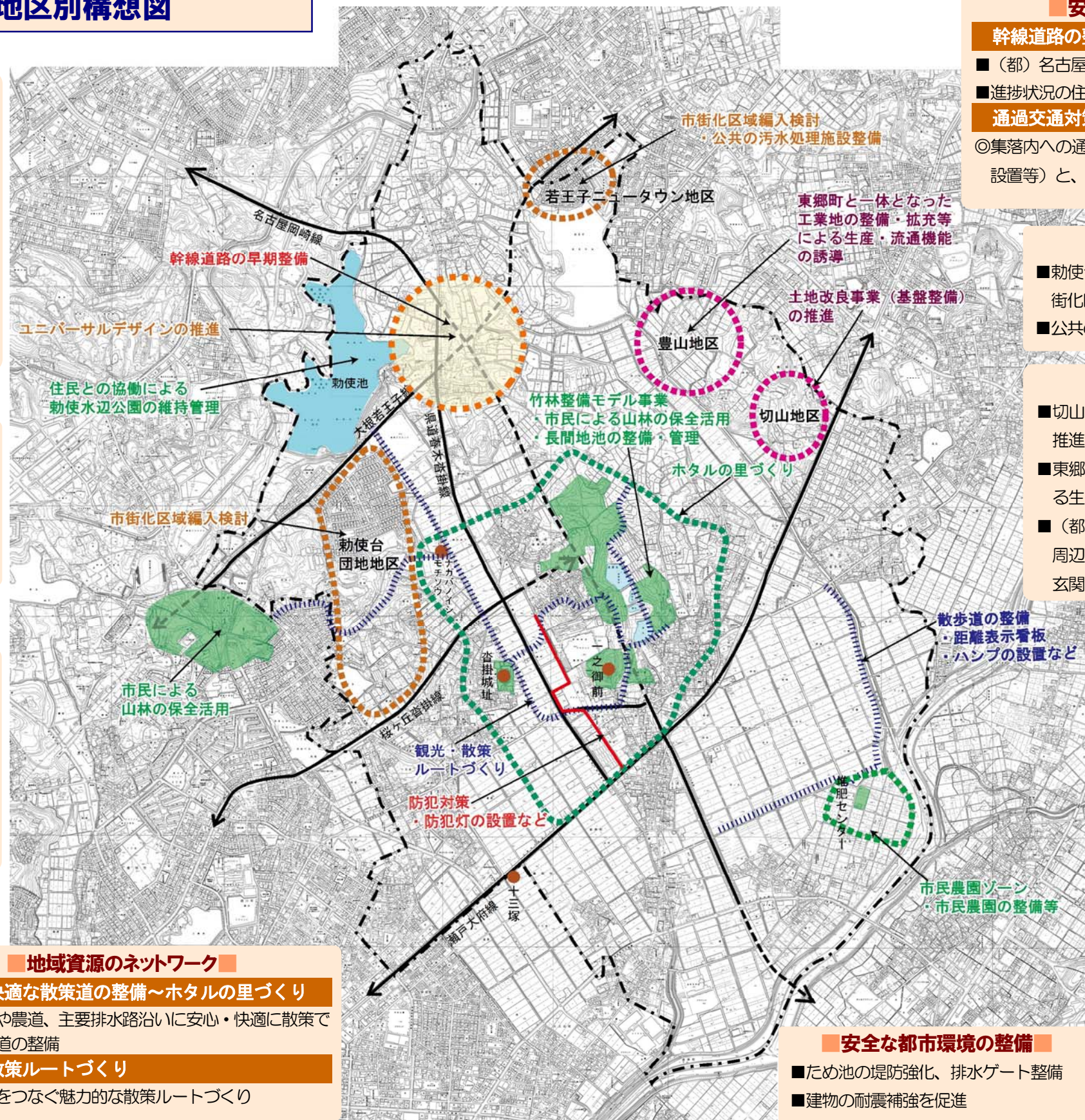
農地の有効活用(遊休農地対策)

花畑づくりプロジェクト

- 遊休農地を活用し、地権者、市民等による花畑づくりプロジェクトの実施

市民農園の整備

- 堆肥センター周辺に市民農園ゾーンを設定し、市民農園の整備と、堆肥センターを活用したクラブハウスの設置



安全で快適な道路環境の整備

幹線道路の整備

- (都)名古屋岡崎線などの幹線道路の早期実現
- 進捗状況の住民への説明・情報提供

通過交通対策の実施

- ◎集落内への通過交通の抑制に向け、道路の改良(ハンプの設置等)と、住民による監視ボランティアの設置

市街化区域の編入検討

- 勅使台団地地区及び若王子ニュータウン地区の市街化区域への編入検討
- 公共の汚水処理施設等の整備検討

適正な土地利用の誘導

- 切山地区の土地改良事業の導入による基盤整備の推進
- 東郷町と一体となった工業地の整備・拡充等による生産・流通機能の誘導
- (都)名古屋岡崎線の整備にあわせ、高齢者施設周辺のユニバーサルデザイン化の推進による北の玄関口の形成

防災・防犯コミュニティの確立

- 救出、消火を指導できるリーダーの育成、実践的な講習会を定期的開催
- 自主防災組織の独自のマニュアル、防災マップの作成とその活用訓練の実施
- 高齢者世帯の避難を支える助け合い体制
- ◎防犯情報を共有するシステムの整備

世代間交流拠点の整備

- 小学校周辺に世代間交流の拠点の整備(児童館等の整備)
- 住民による管理運営と交流事業の開催

安全な都市環境の整備

- ため池の堤防強化、排水ゲート整備
- 建物の耐震補強を促進

地域資源のネットワーク

安心・快適な散策道の整備~ホタルの里づくり

- 生活道路や農道、主要排水路沿いに安心・快適に散策できる散策道の整備

観光・散策ルートづくり

- ◎地域資源をつなぐ魅力的な散策ルートづくり

双峰小・大宮小・唐竹小・三崎小学校区 地区別計画

(1) 地区の概況

①位置

◇双峰小・大宮小・唐竹小・三崎小学校区は市の北西部に位置し、北と西は名古屋市に接しています。地区内には緑地やため池が点在しつつ、良好な住宅地が形成されています。



②人口・世帯、人口密度

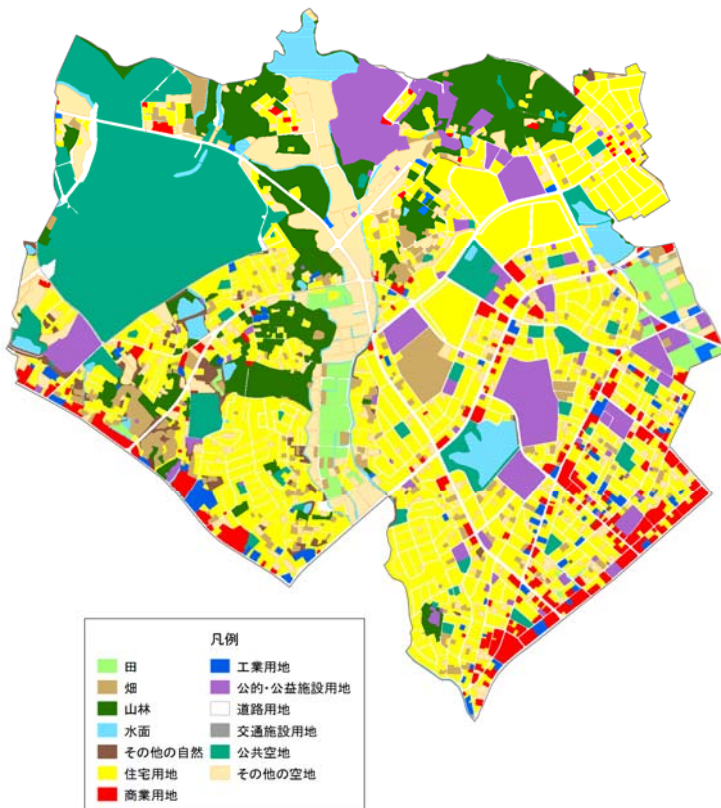
- ◇人口は平成24年1月1日現在、21,899人で市全体(68,625人)の31.9%を占めています。
- ◇世帯数は9,356世帯で、市全体(27,864世帯)の33.6%を占めています。
- ◇人口密度は42.8人/ha(市全体29.6人/ha)と他と比べ高くなっています。

人口	21,899 人
世帯数	9,356 世帯
地区面積	512 ha
人口密度	42.8 人/ha

注) 人口、世帯数には一部、縮小・栄小学校区内を含む。

③土地利用現況

◇土地利用は、住宅用地が多く29.6%を占めています。また、中京競馬場が立地することから公共空地が比較的多く、また公的・公益施設用地も多くなっており、全体として都市的な土地利用が占めています。



土地利用		面積 (ha)	%
農地	田	10	2.0%
	畑	21	4.1%
山林		47	9.1%
水面		17	3.4%
その他の自然		6	1.1%
住宅用地		152	29.6%
商業用地		19	3.7%
工業用地		7	1.5%
公的・公益施設用地		37	7.2%
道路用地		75	14.6%
交通施設用地		0	0.0%
公共空地		75	14.7%
その他の空地		47	9.1%
総面積		512	100.0%

注) 平成19年豊明市都市計画調査及び数値地図より図上求積

(2) 地区の特性と課題

①公園・緑地の保全と活用

- ◇三崎水辺公園や三ツ谷公園、二村山緑地などの公園・緑地が整備・保全され、豊かな自然環境が残っています。
- ◇地区内の緑地の多くは民有地であることから、今後の開発動向により緑地が減少する可能性もあります。
- ◇公園・緑地の中には利用者が少なく、犯罪の危険性が高いところもあります。

②ため池、農地の有効活用

- ◇間米土地改良区のは場（農地）やため池など、住宅地周辺に農業生産環境が残っていません。
- ◇後継者不足等による農業の低迷に伴い、農地やため池が活用できないため、遊休農地化が進み、ため池の水質も悪化しています。

③道路・交通対策

- ◇中京競馬場が立地しているが、来場者の道路交通動線が十分に整備されていないため、開催日には激しい交通渋滞が起きています。
- ◇生活道路において、大型車の進入や路上駐車などが起きており、静かな居住環境が損なわれています。特に三崎地区では、幹線道路沿いの大型店を利用する買い物客の自動車地区内に流入し、歩行者や自転車の通行に支障をきたしています。
- ◇道路では、側溝の蓋がないところや管理が悪く、路面が凹凸になっているところなど、歩行者の安全性が確保できていない道路が多くなっています。

④居住環境の保全・整備

- ◇居住環境を概括的に見ると、自然が保全され、交通の利便性も高く、病院、文化施設等が立地するなど、良好な居住環境が形成されています。
- ◇市街化調整区域にある間米地区では、下水道が未整備であり、公園も少なく高齢者にとって住みにくい環境になっています。また、前後地区でも公園が少ないなどの問題があります。
- ◇雑草地や山林等においてごみの不法投棄がみられます。
- ◇間米のは場整備地区は、長期的には開発可能地になることも考えられますが、農地の保全を望む声もあり、今後の土地利用の方針を検討することが望まれます。

(3) 地区のまちづくり構想

記号 ◎：協働 ●：市民主体 ■：行政主体

①都市計画道路の早期整備

(都) 大根若王子線の整備

- (都) 大根若王子線を当面、藤田保健衛生大学病院付近まで整備し、病院利用者のアクセスの向上を図ります。

②二村山を通る都市計画道路の整備方針の検討

- 現在の都市計画決定では、二村山を分断して2本の都市計画道路（大根若王子線・平手豊明線）が整備される計画となっています。これらの道路の整備は、広域的な道路体系による移動時間の短縮や地域内通過交通の排除などのメリットがある反面、緑地や生態系の保全を考えると再検討が必要であるという意見もあります。そこで、今後の道路整備や環境保全のあり方について地域住民も含めた関係者で検討する機会を設けます。

③交通規制による道路の効率的な利用の推進

住宅地内を通過する交通の排除

◎住宅地内に流入する自動車（特に大型車）により、地域住民の安全と閑静な環境が脅かされているため、幹線道路を除く地域内道路の一方通行化や大型車の進入規制を検討します。

競馬場関係車輛の流入防止

◎競馬場開催日には、周辺的生活道路に自動車が入り込み渋滞する上、路上駐車も見られるため、地域住民が協議して、進入規制や一方通行などの交通規制を導入します。

大型店利用者による交通問題の解消

■三崎地区においては、幹線道路沿道にある大型店を利用する買い物客の自動車が地域内に流入し、歩行者や自転車に危険なため、安全な歩行空間の確保に努めます。

④道路景観の整備

シンボルロードの環境美化

■（都）桜ヶ丘沓掛線をシンボルロードとして緑化推進や屋外広告物の規制を強化し、魅力化を図るとともに、楽しく歩けるウォーキングコースとして設定します。将来的には、大根若王子線と結ぶ環状遊歩道の整備が望まれます。

●沿道の環境美化を進めるにあたっては、地区住民が水遣りや清掃などに協力して取り組みます。

街路樹の樹種選定と道路の美化

■道路の街路樹などの中には、大きくなりすぎて歩道表面に根が張り出しているところもあります。今後、街路樹の樹種選定に配慮するとともに必要に応じてプランター化を推進します。

◎道路の美化を進め、ごみのポイ捨てや犬のフンの置き去りができにくい環境を整えます。

⑤みんなに親しまれる公園・緑地の整備

二村山緑地の整備

●二村山緑地を見通しが良く、誰もが楽しんで利用できる憩いの場所にするため、下草刈りや記念樹の植栽などを実施します。

■二村山緑地を楽しみながら活用する方法を企画・実践するために結成された二村山環境保全推進協議会の活動を支援します。

◎残された地区内の緑地については、行政は開発抑制と保全を地権者に働きかけるとともに、地権者による緑化推進と活用を支援します。

市民の手による公園の維持・管理

◎既存公園を地域のニーズに応じてリニューアルを図るとともに、地域で清掃や花植えを楽しみながら実施します。

●みんなが気分よく利用できるよう、犬のフンの問題、ハトなどに対するえさやり、ごみのポイ捨てなどについての利用ルールを住民で話し合いながら作成します。

⑥ため池や河川の水質改善と整備

■ため池のうち、整備する箇所を絞り（三崎池、皿池、大狭間池など）、管理者の理解・協力を得ながら市民の憩いの場所となるよう整備します。また、ビオトープによる水辺環境の再生を図り、環境学習の場所として整備することも検討します。

◎河川やため池の水質悪化が進行していることから、地域住民や市民グループと行政が協働して水質改善、清掃活動に努め、魅力的な水辺環境を形成します。

⑦農地の有効活用

遊休農地の活用による市民農園の整備

- ◎後継者の不在などにより発生した遊休農地を活用し、市民農園として貸し出したり、農業体験学習や生涯学習の場として活用したりします。

農地の有効利用

- ◎農地については、のんびりと農を楽しむ散策道を整備するなど、次世代に環境保全型の農業を守り伝える場としての活用を考えます。
- ◎市民から資料等を集めながら、地域の歴史を伝える資料館や美術館、花やエコロジーをテーマにした市民ギャラリーなどを誘致し、景観作物としてひまわりを植えるなど周辺の環境を整え、市民が中心となって運営に取り組みます。

⑧住宅地の魅力の維持・向上

- 開発されて20～30年が経過した中高層住宅団地は、次の世代が転入できるよう、住宅の魅力向上を図りつつ、アクセスしやすいようなバスなどによる交通体系の充実を図ります。
- うるおいある居住環境を創出するため、花いっぱい運動を活性化し、花や緑があふれる良好な住宅地として魅力の向上を図ります。また、集会所などの憩いの場も整備します。
- 街並みやコミュニティを維持するため、徐々に増えつつある空き家や空き地の活用を図ります。
- 丘陵部に開発された戸建住宅地においては坂が多いため、高齢者の負担を軽減するため、歩道において手すりや滑り止めなどを設置します。

⑨日常的な生活マナー

- 誰もが心地よく生活できるよう、ごみ出しやペットの散歩などにおける生活マナーについて、外国人を含めた地域住民に対する啓発や講習を実施します。
- 高齢者のみの家庭が増えていることから、ごみの戸別回収やごみ出しボランティアの実施など、高齢者等を地域内で支え合って暮らせる仕組みをつくりまします。

⑩安心して暮らすための対策

地震など災害への備え

- 地震に備え、三崎地区や西川地区、仙人塚など活断層付近に建つ住宅については、耐震診断を促進するとともに、地域住民の日常的な意識の向上を図ります。
- 災害時に助けが必要な人（災害時要援護者）の状況を把握し、町内会レベルで自主的な防災訓練を実施します。

防犯体制

- ◎地域への犯罪情報の発信や地域版防犯マップの作成、セキュリティシステム導入検討など地域防犯体制の強化を進めます。
- 子どもの安全や空き巣対策など、区ごとに防犯チームを組織して対策を練ります。

⑪市街化区域の編入検討

- 競馬場南地区は、住民等の意向を把握しながら市街化区域に編入し、適正な土地利用の推進と都市基盤整備を検討します。

地区別計画

双峰小・大宮小・唐竹小・三崎小学校区 地区別構想図

都市計画道路の早期整備

(都) 大根若王子線の整備

- 病院利用者の交通アクセスを高めるため、藤田保健衛生大学病院付近までを早期整備

交通規制による道路の効率的な利用の推進

住宅地内を通過する交通の排除

- ◎住宅地内道路の一方通行化や大型車の進入規制の検討

競馬場関係車両の流入防止

- ◎競馬場開催日の渋滞や路上駐車対策として、地域住民の協議により、進入規制や一方通行などの交通規制を導入

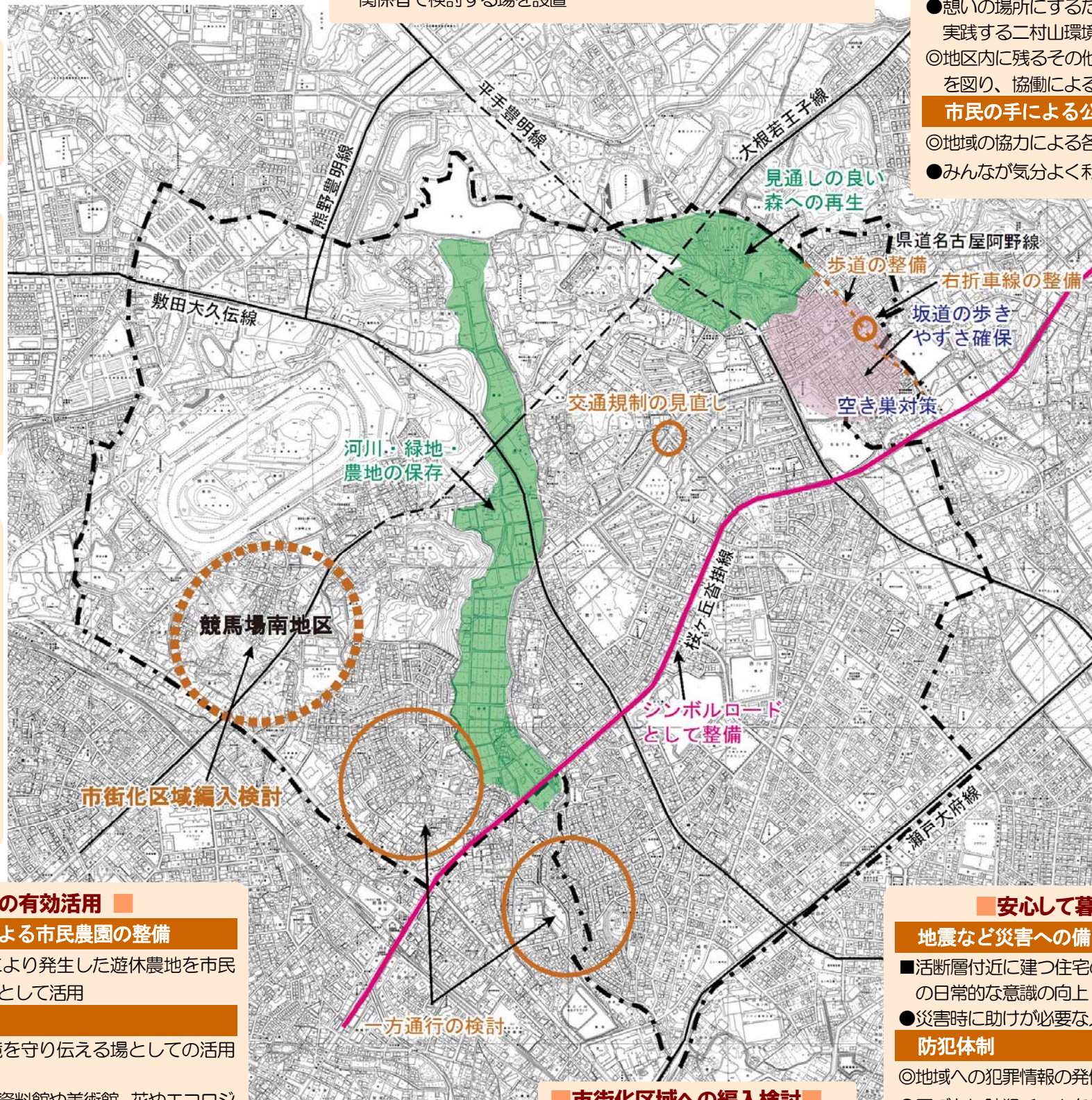
道路景観の整備

シンボルロードの環境美化

- (都) 桜ヶ丘脊掛線をシンボルロードとして、緑化の推進やウォーキングコースの設定、広告・看板の規制
- 沿道の環境美化を地区住民が協力して推進

街路樹の樹種選定と道路の美化

- 街路樹の樹種選定に配慮し、必要に応じてプランター化
- ◎ごみのポイ捨てや犬のフンの置き去りができない道路環境の整備



二村山を通る都市計画道路の整備方針の検討

- 今後の道路整備や環境保全のあり方について、地域住民も含めた関係者で検討する場を設置

みんなに親しまれる公園・緑地の整備

二村山緑地の整備

- 憩いの場所にするため、下草刈りや記念植樹の実施、活用方法を企画・実践する二村山環境保全推進協議会の活動支援

- ◎地区内に残るその他の緑地について、地権者の協力のもと、開発抑制を図り、協働による緑豊かな地区の形成

市民の手による公園の維持・管理

- ◎地域の協力による各公園のリニューアル
- みんなが気分よく利用できるルールの作成

ため池や河川の水質改善と整備

- 整備するため池を絞り、市民の憩いの場所となるよう整備

- ◎地域住民と行政の協働による河川やため池の水質改善、清掃活動

住宅地の魅力の維持・向上

- 中高層住宅団地に次の世代が転入できるよう魅力や交通体系の充実

- 花や緑あふれる住宅地にし、憩いの場を整備することにより、うるおいある居住空間を創出

- 中高層住宅を促進するなど、増えつつある空き家や空き地の対策検討

- 高齢者の負担になるところに手すりや滑り止めなどの設置

日常生活マナーの向上

- ごみ出しやペットの散歩など生活マナーについて、外国人を含めた地域住民への啓発や講習の実施

- 高齢者のみの家庭へのごみ戸別回収など、地域住民同士が支え合って暮らせる仕組みづくり

農地の有効活用

遊休農地の活用による市民農園の整備

- ◎後継者の不在などにより発生した遊休農地を市民農園や農業体験の場として活用

農地の有効利用

- ◎次世代に農業や環境を守り伝える場としての活用を検討

- ◎地域の歴史を伝える資料館や美術館、花やエコロジーをテーマにしたギャラリーなどを移築した古民家で市民が中心となって運営

安心して暮らすための対策

地震など災害への備え

- 活断層付近に建つ住宅の耐震診断促進及び、地域住民の日常的な意識の向上

- 災害時に助けが必要な人の状況把握と防災訓練の実施

防犯体制

- ◎地域への犯罪情報の発信など地域防犯体制の強化

- 区ごとに防犯チームを組織し、対策を検討

- 災害時に助けが必要な人の状況把握と防災訓練の実施

市街化区域への編入検討

- 競馬場南地区の市街化区域への編入検討

■ ■ ■ 館小・栄小学校区 地区別計画 ■ ■ ■

(1) 地区の概況

①位置

◇館小・栄小学校区は市の西部に位置し、西は名古屋市、南は大府市に接しています。



②人口・世帯、人口密度

◇人口は平成24年1月1日現在、18,690人で市全体(68,625人)の27.2%を占めています。

◇世帯数は7,656世帯で、市全体(27,864世帯)の27.5%を占めています。

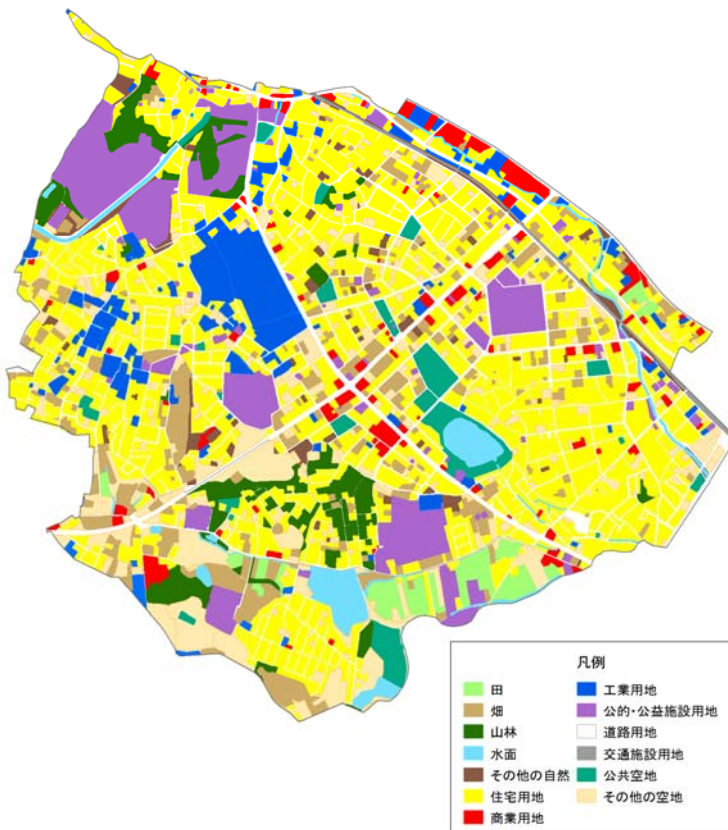
◇人口密度は65.8人/ha(市全体29.6人/ha)と他と比べ極めて高く、密集市街地が形成されていることがうかがえます。

人口	18,690 人
世帯数	7,656 世帯
地区面積	284 ha
人口密度	65.8 人/ha

注) 人口、世帯数には一部、双峰小・大宮小・唐竹小・三崎小学校区内を含む。

③土地利用現況

◇土地利用は、住宅用地が38.8%を占め、住宅地としての土地利用になっています。また、学校や福祉施設等の立地も多く、公的・公益施設用地も比較的多くなっています。



土地利用		面積(ha)	%
農地	田	5	1.9%
	畑	20	6.9%
山林		12	4.2%
水面		7	2.4%
その他の自然		5	1.6%
住宅用地		110	38.8%
商業用地		7	2.4%
工業用地		16	5.7%
公的・公益施設用地		25	8.8%
道路用地		44	15.4%
交通施設用地		2	0.5%
公共空地		7	2.5%
その他の空地		25	8.7%
総面積		284	100.0%

注) 平成19年豊明市都市計画調査及び数値地図より図上求積

(2) 地区の特性と課題

①道路・交通対策の整備

- ◇スプロール開発等により市街地化されたことから基盤整備が遅れており、全体的に道路が狭くなっています。
- ◇国道23号等への抜け道として通過交通が多く、頻繁に交通渋滞が起こっています。
- ◇側溝の蓋が無い道路、凹凸や雑草があるなど、歩道が歩きにくくなっています。また、国道1号の南側に駐輪場がなく不法駐輪が多いなど、歩行者が安全に歩ける環境整備が必要となっています。
- ◇前後駅、中京競馬場前駅に近いという利便性はあるものの、ひまわりバスの運行本数が少なく、坂道が多いことなどから高齢者の移動を支援する方策を検討する必要があります。

②防災・防犯対策の強化

- ◇狭い道路が多く、なおかつ建物も住宅や工場などが混在して密集する市街地になっていることから、災害が発生した場合の危険性は高くなっています。特に、高齢者が安全に避難することが難しい市街地環境になっています。
- ◇道路基盤が脆弱であること、消防署が遠くなることから、火災が発生しても消防車の到着時間が遅れ、被害が拡大する懸念があります。
- ◇活発な地域活動によるコミュニティの力を生かし、火災・地震などの災害時の迅速な初期対応が図れるようにする必要があります。
- ◇街路灯が少なく道路が暗いため、防犯上改善が必要です。

③公園の整備・充実

- ◇大蔵池公園、大原公園、西大根緑地、はざま公園など公園緑地が多くあります。しかし、利用者のマナーの問題、犯罪の危険性、利用者が少ないなどの問題を抱えています。
- ◇坂が多いため、高齢者になっても楽しく外出できる集会場や公園の充実が求められます。そのため、誰もが安心・安全に楽しめる公園にリニューアルしていくことが求められます。

④地域の資源の活用

- ◇大蔵池、大原池、はざま公園、西大根緑地などの池や公園のほかに山林も残っています。
- ◇このような地域の資源を活用して、高齢になっても楽しく暮らせるような環境づくりが課題となっています。

(3) 地区のまちづくり構想

記号 ◎：協働 ●：市民主体 ■：行政主体

①自然環境の保全活用

市民参加による緑地・竹やぶの管理と活用

- 管理が行き届かず荒廃化し、竹やぶになっている緑地を景観的に美しく気持ちよい山林に再生するため、市民ボランティア組織を設立するなどによって、下草刈りや除伐など林床管理を地権者の同意を得ながら進めます。
- ◎多様な世代の地域住民による緑地の管理活動を広げるため、除伐した竹材や木材を使った竹細工・木工教室など楽しみながら緑地管理に参加できるイベント等を開催します。さらに、地域の子たちが自然に親しみながら遊べるプレイパーク整備を検討します。

②自然環境を活かした公園整備

健康づくり拠点としての大蔵池公園の充実

- 水辺に緑鮮やかな芝生が広がる大蔵池公園を健康づくりができる拠点として位置づけ、屋外用の健康器具や運動器具を設置するとともに、緑陰などの日陰で休憩できる施設の設置など、利用者の増大を図るためのリニューアルを進めます。
- 大蔵池公園を起終点として周辺地域に立地する公園等をつなぐウォーキングコースを設定します。

その他の公園の整備・充実

- 地区内の街区公園については、芝生広場、テーブル・ベンチを整備するなど明るく誰もがのんびりと憩うことができる公園としてリニューアルします。
- その他の公園・広場についてもトイレや休憩施設などを整備するなど地区住民の参加によるリニューアルを進めます。

快適で魅力的な公園利用の促進

- 大原公園や大蔵池公園は、隣接するため池や周辺に広がる緑地等と一体感のある水と緑の豊かな公園とし、誰もが楽しめる公園にしていくなど、市民ニーズにあった利用を促進します。
- 犬のふん害のある公園も見受けられることから、公園愛護会等を組織化して利用者のマナー向上を呼びかけるなど、誰もが気持ちよく快適に利用できる公園づくりを進めます。

③歴史資源のネットワーク形成

古戦場の歴史を巡る観光・散策ルートづくり

- 観光交流の推進による地区の賑わい創出や本市の知名度の向上を図るため、本地区にある桶狭間古戦場伝説地と市内に残る戦人塚、勅使池、二村山、杵掛城址、高德院、曹源寺、首塚など中世や近世にかけての史跡についてPR強化に努めるとともに、これらを巡る観光ルートづくりやガイドマップ作成などを、歴史同好会などを設立し、豊明の歴史に関する調査・研究を進めながら推進します。
- 観光交流の基盤となる駐車場や駐輪場等の整備拡充を検討します。

④円滑で快適な幹線道路の整備

(都) 桜ヶ丘杵掛線の整備

- 国道23号から本市の玄関口の一つとなる(都)桜ヶ丘杵掛線については、(都)大脇館線との交差点以南の早期実現に向けて整備推進に努めます。

(都) 大脇館線のシンボルロード化

- ◎(都)大脇館線は、豊明南部の玄関口にふさわしいシンボルロードとして位置づけ、市民公募による愛称のネーミングや、アダプトプログラム制度などを活用した街路樹等の管理や花飾りを行うなど住民参加による親しみのある快適な道づくりを進めます。
- 国道1号への接続部の未整備区間については桶狭間古戦場周辺の環境に配慮した拡幅整備を進めます。

⑤生活道路の安全性や快適性の確保

補助幹線道路(栄220号線)の改善等

- 栄220号線は狭く、なおかつ星城高校のスクールバスが運行しており、交通渋滞や通行の危険性もあることから、(都)桜ヶ丘杵掛線と星城高校の間の道路の拡幅整備を進めます。

交通安全施設の設置

- 交通危険箇所については、カーブミラーや信号機の設置、横断歩道の設置等を進めます。

生活エリア内への通過交通対策の実施(安心・快適な生活エリアの形成)

- 住宅地内の狭あい道路への通過交通を排除し生活者の安全を確保するため、地区住民の合意を得ながら安心・快適な暮らしのみちエリアを設定し、車の速度を抑制するハンプ

やポール（ポラード）、立て看板を設置します。また、関係機関と調整し一方通行規制についても検討します。

- 通過交通や違法駐車等を監視・指導する交通安全監視・指導員を地域住民のボランティアで設置します。
- 歩道の段差の解消などユニバーサルデザインによる歩行空間の改修・整備を進めます。

⑥ 便利で快適な移動手段の確保

ひまわりバス等の充実

- ひまわりバスのコースや本数の充実を図るなど、高齢者や障がい者など移動手段に制約のある住民でも市内各地に行くことができる便利で快適な移動手段を確保します。

⑦ 防犯・消防対策の推進

緊急体制の強化

- 「緊急車両6分以内到着体制」の実現を目指します。
- 緊急車両が目的地に短時間で到着できるようにするため、違法駐車等の解消を図ります。

消火施設等の整備・拡充

- 消火活動を的確に実施できるようにするため、立ち上がり消火栓や防火水槽等の整備を、特に、高台にある地区を中心に進めます。

自主防災・防犯活動の充実

- 防災・防犯マップの作成や防災倉庫の点検、防犯パトロールの実施など、自主防災・防犯活動を充実します。
- ◎ 通学路沿いの薄暗い竹林などの危険箇所を点検するとともに、危険箇所への防犯灯やフェンスの設置などの安全対策を実施します。

高齢者等の避難支援と避難施設のバリアフリー化

- ◎ 高齢者世帯等の情報を地域で把握し、誰もが確実に避難できる助け合いの体制を整えるとともに、避難所で高齢者等が困らないようにするため、避難所及び避難経路のバリアフリー化を進めます。

緊急時の連絡システム

- ◎ 高齢者や子どもなどを犯罪被害等から守るため、行政・警察と市民との間で犯罪の危険情報の共有化を図ります。

⑧ 安全・快適な都市環境の整備

- ため池の堤防補強整備により水害対策を強化します。
- 耐震工事等にかかる支援制度の普及により、耐震性に問題のある住宅等の耐震補強を促進します。また、避難所に指定されている学校等施設の耐震化を進めます。
- 市街化調整区域のD I D地区を中心に市街化区域への編入を検討します。

⑨ 市街化区域の編入検討

- 館南地区及び栄南地区は、住民等の意向を把握しながら市街化区域に編入し、適正な土地利用の推進と都市基盤整備を検討します。

用語説明

D I D地区：

総務省統計局国勢調査による地域別人口密度が4,000人/k㎡以上でその全体が5,000人以上となっている人口集中地区。

地区別計画

館小・栄小学校区 地区別構想図

■ 自然環境の保全活用 ■

市民参加による緑地等の管理と活用

- 緑地や竹やぶの下草刈りや除伐など林床管理
- ◎除伐した竹材や木材を活用した竹細工や木工等の教室の開催による保安全管理活動の拡大
- プレイパーク開設の検討

周辺環境への悪影響を無くす産廃対策

- 地域住民と行政が連携したパトロールの実施

■ 自然環境を活かした公園整備 ■

健康づくり拠点としての大蔵池公園の充実

- 屋外用の健康器具や運動器具の設置
- 公園を起終点としたウォーキングコースの設定

その他の公園の整備・充実

- 地区内の街区公園のリニューアル

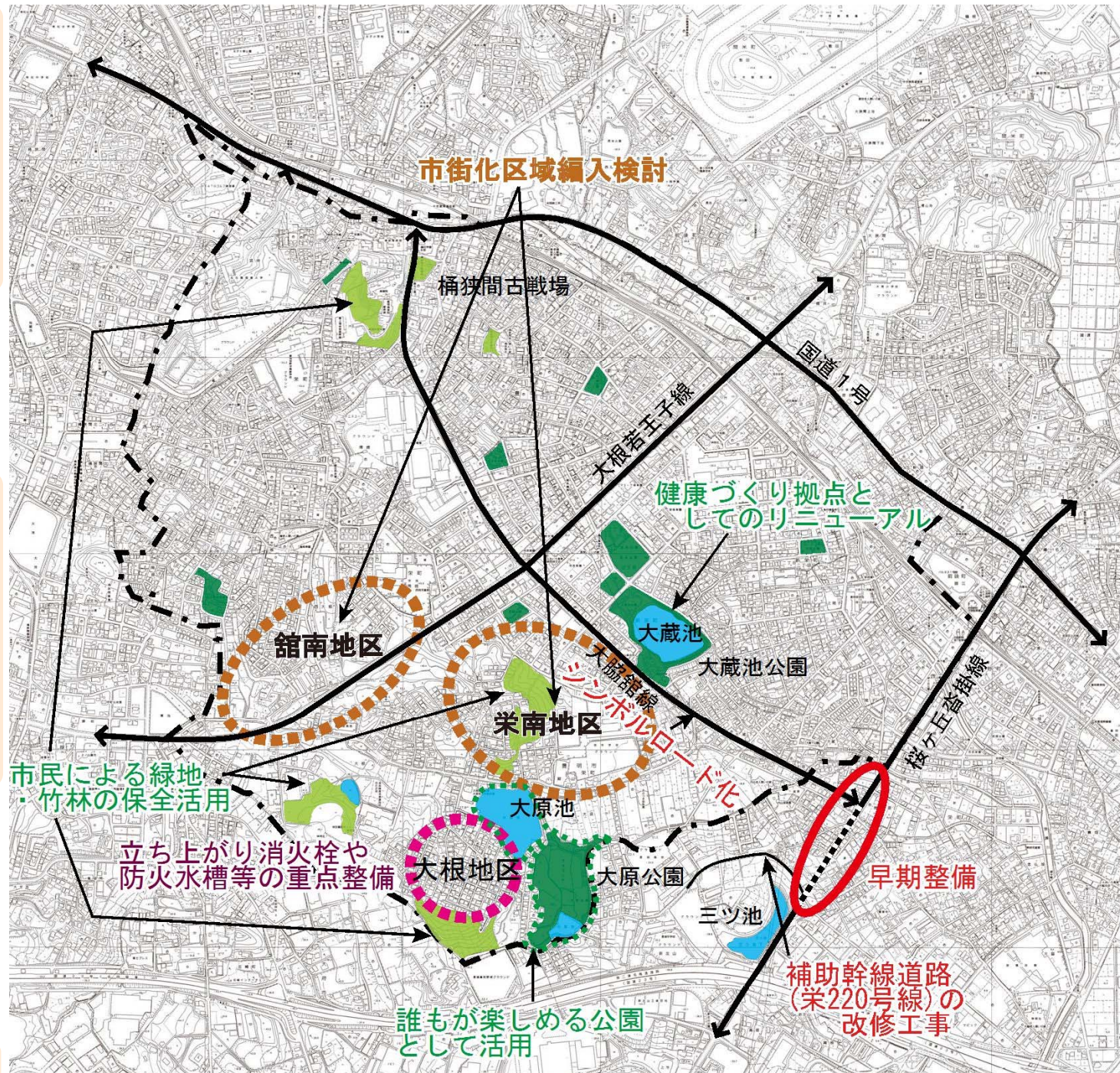
快適で魅力的な公園利用の促進

- 大蔵池のヘラブナの放流
- 公園利用者のマナー向上

■ 歴史資源のネットワーク形成 ■

古戦場の歴史を巡る観光・散策ルート化

- 古戦場と市内の史跡のPR強化と、これらを巡る観光ルートづくりやガイドマップの作成
- 駐車場や駐輪場等の整備



■ 円滑で快適な幹線道路の整備 ■

(都)桜ヶ丘沓掛線の整備

- 国道23号から本市の南部玄関口としての早期整備

(都)大蔵館線のシンボルロード化

- ◎愛称のネーミングや住民参加による管理
- 桶狭間古戦場周辺環境の保全に配慮した未整備区間の整備

■ 生活道路の安全性や快適性の確保 ■

補助幹線道路(栄220号線)の改修等

- (都)桜ヶ丘沓掛線と星城高校間の拡幅整備の推進

交通安全施設の設置

- カーブミラーや信号機等の設置

快適・安心な生活エリアの形成

- ◎住宅地内の狭い道路への通過交通を排除のためのハンプ等の設置や住民ボランティアによる監視・指導
- 安全な歩行空間の確保

■ 便利で快適な移動手段の確保 ■

- ひまわりバス等の充実

■ 防犯・消防対策の推進 ■

- 立ち上がり消火栓や防火水槽等の整備
- 自主防災・防犯活動の充実
- ◎高齢者世帯等の避難を支える助け合い体制
- ◎防犯情報を共有するシステムの整備

■ 安全・快適な都市環境の整備 ■

- ため池の堤防強化
- 住宅等の耐震補強の促進や避難所の耐震化
- DID地区の市街化区域への編入検討

■ 市街化区域への編入検討 ■

- 館南地区及び栄南地区の市街化区域への編入検討